

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	スポーツの振興				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-01-05-01、10-05-01-10-01				担当係名	スポーツ振興係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託	補 助	
事業の開始・終了	年 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)					
根拠法令等の名称	スポーツ基本法					

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	下諏訪町スポーツ推進計画に掲げる「生涯—町民—スポーツ」を基本理念に、スポーツのまち下諏訪として町民の体力の向上、健康志向、いきがいくりの場として、地域に根ざした生涯スポーツ社会の実現を目指す。NPO法人下諏訪町スポーツ協会へイベント等の開催を委託し、また、スポーツ推進委員によるニュースポーツ教室等の軽スポーツは、子どもから高齢者まで町全体に普及しつつある。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	大会及び教室等への延べ人数参加者数	集計数値	人	目 標	13,000	26,000	26,000
				実 績	5,023	7,198	
達成率		38.6%	27.7%				

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	4,357 千円		6,060 千円		7,933 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.90 人	5,775 千円	0.90 人	5,955 千円	0.90 人	5,925 千円
事業費合計 C (A+B)		10,132 千円		12,015 千円		13,858 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円		
		県の負担	千円	千円	千円		
		町の借入	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円		
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円		
一般財源 (町の負担)		10,132 千円		12,015 千円		13,858 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	B 町以外では行えない	スポーツ振興は、国のスポーツ基本法に基づいて町がスポーツ推進計画を策定し、誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくりをめざして、各スポーツ団体等と連携しながら、町が進めていく必要がある。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	大会や教室は、町が主催するものからNPO法人下諏訪町スポーツ協会各専門部が企画するものまで多くの種目があり、子どもから高齢者まで幅広い世代が参加できる。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	町民スポーツ大会、各種教室及び講習会等の開催をNPO法人下諏訪町スポーツ協会に委託し、また、体力づくり教室、ニュースポーツ教室及び軽スポーツの出前講座等をスポーツ推進委員が実施しており、効率的・効果的に教室やイベント等が実施できている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下である	新型コロナウイルス感染拡大により、全国的に緊急事態宣言が発出されるなど体育館やイベントの中止が余儀なくされ、目標値を大きく下回っている。また、NPO法人下諏訪町スポーツ協会への委託事業、スポーツ推進委員の活動も数多く中止となった。そのため、規模縮小や参加人数を制限せざるを得なかった。

総合評価	手法改善	スポーツ推進委員やNPO法人下諏訪町スポーツ協会の協力もあり、スポーツ振興に一定の効果はあったと考えられる。引き続き、「生涯—町民—スポーツ」を基本理念に、住民の健康づくり、健康長寿への取組みを継続する。令和4年度は、第3期下諏訪町スポーツ推進計画の策定を行い、健康増進のほか、スポーツによる地方創生、まちづくりや共生社会の実現など、社会情勢の変化に適した取組を推進する。
	手法改善の内容	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、イベント開催等施設運営を行う。これまでの推進計画の検証と評価を図り、町の進捗状況や社会状況の変化に適した取組を推進する。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	スポーツ施設の整備充実				担当課名	教育こども課
(予算書コード)	10-05-02-10-01、10-05-03-05-01、10-05-03-10-01				担当係名	スポーツ振興係
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託		
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	体育館、総合運動場、錬成の家及び屋内運動場は、スポーツの振興の拠点となることから、施設の貸し出しから施設管理に至るまで町が行っている。総合運動場の施設管理や貸し出しについては、NPO法人下諏訪町スポーツ協会及びシルバー人材センターに委託している。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	施設利用者数	集計数値	人	目 標	105,000	105,000	105,000
				実 績	81,330	71,716	
達成率	77.5%	68.3%					

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	23,120 千円		21,715 千円		35,017 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	1.20 人	7,700 千円	1.20 人	7,940 千円	1.20 人	7,900 千円
事業費合計 C (A+B)		30,820 千円		29,655 千円		42,917 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円		
		県の負担	千円	千円	千円		
		町の借入	千円	千円	千円		
		その他	6,293 千円	5,718 千円	千円		
		うち 使用料・手数料 D	6,293 千円	5,718 千円	千円		
一般財源 (町の負担)		24,527 千円		23,937 千円		42,917 千円	
受益者負担率 (D/C)		20.419 %		19.282 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	町立の施設であり、町が管理運営を行う必要があるが、民間に委託できる部分は可能な限り委託することとしており、経費節減に努めている。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	施設予約は、公平性を期すために窓口申請を原則としており、誰でも申請することができる。使用料については、令和元年度の一部改正に伴い、利用しやすい料金設定になった。減免制度については、施設の利用促進の観点から、変更することは難しい。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	施設等の老朽化に伴う改修は、公共施設等総合管理計画(スポーツ系施設個別施設計画)に基づき施設評価の結果や劣化状況調査の結果から、優先順位を定め、計画的に実施する。なお、軽微な修繕については、職員が直接対応することで、早期修復とコスト削減につながる。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	C 目標値以下 である	新型コロナウイルス感染拡大により、全国的に緊急事態宣言が発出されるなど体育施設の休館やイベントの中止を余儀なくされたため、体育施設利用者数は目標値を大きく下回っている。

総合評価	現状維持	使用料については、令和元年度の一部改正に伴い、利用しやすい料金設定になった。総合運動場施設整備や管理については、NPO法人下諏訪町スポーツ協会及びシルバー人材センターへの委託を継続する。また、施設予約システムについては、令和3年度に新システムに切り替えたことにより事務の効率化に結び付いている。
	手法改善	料金設定の改善や新システムに切り替えたことにより事務の効率化に結び付いているため、現状維持とした。

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	(新)ボートコース認定更新整備事業				担当課名	教育こども課		
(予算書コード)	10-05-03-10-01				担当係名	スポーツ振興係		
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託				
事業の開始・終了	令和 3 年 4 月 ~ 令和 3 年 7 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)							
根拠法令等の名称								

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	漕艇場ボートコースについては各種大会の誘致・開催をするため、5年に1度、日本ボート協会より「B級公認コース」として認定を受ける必要がある。県内唯一のボートコースとして、「全日本中学選手権大会」、「北信越大会」、「下諏訪レガッタ」など数多くの大会を開催していることや、令和5年度「全国市町村交流レガッタ・下諏訪大会」や令和10(2028)年に国民スポーツ大会などの各種大会が予定されているため、認定更新のための整備を行う。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	ボートコース認定更新整備	事業進捗率	%	目 標		100	
				実 績		100	
達成率					100.0%		

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算		
事業費	事業費 A	0 千円		4,520 千円		0 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円	
	正規職員人件費 B	0.00 人	0 千円	1.10 人	7,278 千円	0.00 人	0 千円	
事業費合計 C (A+B)		0 千円		11,798 千円		0 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		県の負担	千円	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源 (町の負担)		0 千円	11,798 千円	0 千円	11,798 千円	0 千円	0 千円	
受益者負担率 (D/C)		#DIV/0!	%	0	%	#DIV/0!	%	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	県から町が借用しておりボートコースの管理、運営は町が行う。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	県内唯一のボートコースとして、住民をはじめ近隣市町村及び県内・外の学生、社会人が利用することから、公平性が保たれている。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	限られた予算と人員であったが、関係団体との連携により効率的に事業を遂行できた。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	令和3年7月17日認定済み。

総合評価	廃 止	社団法人日本ボート協会競漕規則のコース規格及び公認コース認定に基づきB級1000mコースとして認定を完了した。次回、令和8年度実施予定。 認定期間: 令和3年7月17日~令和8年7月16日まで
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		

令和3年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	東京オリンピック・パラリンピック推進事業				担当課名	教育こども課	
(予算書コード)	10-05-05-12-01、10-05-05-14-01				担当係名	スポーツ振興係	
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営	委 託			
事業の開始・終了	平成 28 年 4 月 ~ 令和 3 年 8 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした、スポーツによる国際交流やまちづくりを促進するために、県内唯一の常設競技用ボートコースを持つ特長を活かし、ボート競技の事前合宿として選手団を支援する。また、長野県が進めるホストタウン事業に参加し、スポーツの振興、教育文化の向上と共生社会の実現にも取り組む。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	下諏訪町へ現地視察に訪れた国数	集計数値	国	目 標	2	2	
				実 績	0	2	
				達成率	0.0%	100.0%	

【投入されたコスト・業務量】

		令和2年度決算		令和3年度決算		令和4年度予算	
事業費	事業費 A	337 千円		5,023 千円		0 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費	人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B	0.60 人	3,850 千円	0.80 人	5,293 千円	0.00 人	0 千円
事業費合計 C (A+B)		4,187 千円		10,316 千円		0 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円	千円	千円	千円	千円
		県の負担	千円	千円	千円	千円	
		町の借入	千円	千円	千円	千円	
		その他	千円	千円	千円	千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円	千円	千円	千円	
一般財源 (町の負担)		4,187 千円		10,316 千円		0 千円	
受益者負担率 (D/C)		0 %		0 %		#DIV/0! %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割 分担できないか	B 町以外では 行えない	下諏訪町漕艇場は町で管理している施設であるため、町が行うことが妥当。なお、実施にあたっては県や長野県ボート協会とも協力しながら事業を進めた。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	オリンピック・パラリンピックを契機とした地域全体の活性化やスポーツ振興に繋げるための事業である。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、 事業が効率的に行われているか	A 適切である	限られた人員ではあったが、関係団体との連携により効率的に事業を遂行できた。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	A 目標値以上 である	オリンピック事前合宿のための2000m仮設コースを設置し、7月中旬から8月上旬にかけて「イタリア・アルゼンチンのオリンピック・パラリンピック」の事前合宿の受け入れを行うことができた。

総合評価	廃 止	東京オリンピック・パラリンピック推進事業が終了したため。
	手法改善	本事業が無事終了したため、廃止とした。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	手法改善	本事業が無事終了したため、廃止とした。